

## 今こそ「情報教育」の原点に立ち返ろう

名古屋市情報教育研究会  
会長 榊原 貴久 (東白壁小)

様々な施策が進み、あっという間に学校で子どもたち一人一人がタブレットを持ち、場所や時間にかかわらず、いつでもネットにつながる時代になりました。情報教育が「視聴覚教育」と呼ばれていた頃とは隔世の感があります。おそらくあと10年もすれば「視聴覚教育」の時代を知る人は、現場からいなくなるでしょう。私に近い世代はこの「視聴覚教育」で培ってきた理念やノウハウをこれからの方につないでいく責務があると思っています。



自分は情報教育の原点は「視聴覚教育」であると信じています。授業で使った1枚のTP(死語?)を作るためどんな言葉を、図を、レイアウトは?どの順番で提示?等々一生懸命考えました。今のPCのようにやり直しはできません。一度記入したり、カラーシートを貼り付けたりするともうやり直しはきかないのです。とにかく構想をじっくり練り、検討を重ね、慎重に作業するため、一日掛けてできたのはたった一枚ということも珍しくありませんでした。

学習目標を達成するため、すべての子どもが学習内容を自分のものにするため、視覚情報、聴覚情報を如何に効果的に位置付けた授業を設計、実践、分析、検証することで、次の授業設計に役立てる…このような工学的手法も「視聴覚教育」の柱の一つでした。

データがデジタル化され、とりあえず作ってみて、撮ってみて、後から修正・選択、だめならもう一度やり直せばいい…という考えが広がっている今こそ、「視聴覚教育」が培ってきた1枚のTP作りにかけた教材研究への思い、夜通し議論を重ねて作り上げた授業設計への熱意…是非とも今の情報教育を担う皆さんに受け継いでいってほしいと願っています。

## ■名情研 総会

5月17日(火)に、総会をzoomで行いました。

会長、来賓代表のあいさつに続き、研究部から今年度の研究主題、研修グループや広報グループから活動計画の提案、NHKメディア研究グループから活動の案内がありました。

## ■月刊「視聴覚教育」

月刊「視聴覚教育」(日本視聴覚教育協会)に、今年度、名情研からは以下の皆さんの実践事例が掲載されます。

- 5月号: 河野 仁 (田代小)
- 7月号: 渡邊 貴之 (桶狭間小)
- 9月号: 奥村 友紀 (廿軒家小)
- 11月号: 豊岡 真由 (松原小)
- 1月号: 水野 隼人 (徳重小)
- 3月号: 杉山 雄紀 (西城小)

## ■今年度の研究

令和4年度 名古屋市情報教育研究会 研究主題

# 「子どもたちの学びの核となる情報教育」

—生涯に渡って主体的に活用できる情報活用能力の育成—

## ■研修会・研究発表大会のお知らせ

第1回研修会: 6月29日(水)  
「1人1台タブレット時代における  
情報モラル教育」  
・情報発信の仕方について  
・SNSの安全な活用について  
・当事者意識を育む情報モラル教育

第2回研修会: 8月29日(月)  
18:00~19:30 矢田小学校  
「2学期からすぐに使える!  
初めての学習支援ソフト」

第3回研修会: 2月(予定)  
学習者用タブレットの運用、  
年度更新に関する研修

10月18日(火)教育センター講堂にて、名古屋市情報教育研究会研究発表大会を開催する予定です。

大会では、研究成果発表だけでなく、授業におけるICT活用や情報モラル教育について研究をしている、**茨城大学の小林祐紀准教授**によるご講演も予定しております。ご多用とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

小林祐紀准教授(茨城大学)の紹介ページはこちら ⇒



## ■「名情研Web」のご案内

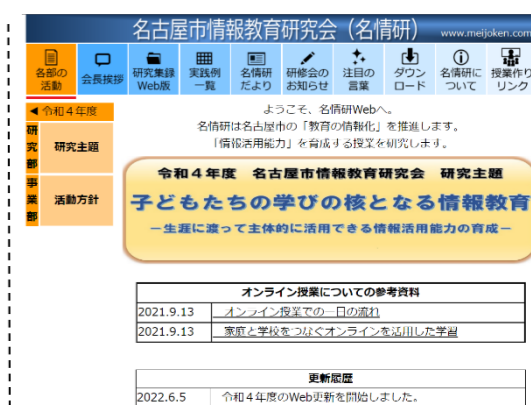
名古屋市情報教育研究会では、「名情研Web」で活動について情報を発信しています。

研究部、事業部の活動の様子について知ることができるだけでなく、過去の研究集録を見たり、ICTを活用した授業・情報活用能力を育成する授業の指導案を見たりすることができます。

情報活用能力を育成する授業の中には、今話題となっている「情報モラル教育」「プログラミング教育」に焦点を当てた実践も多くあります。

「普段の授業をもっと面白いものにしたい」「明日の授業、どんなことができそうかな」など、何かヒントを得たいという先生方は、「名情研Web」をぜひご覧ください。

「名情研Web」はこちら ⇒



「名情研の活動って?」  
「ICTを生かしたい!」  
「もっと実践が見たい!」

「名情研Web」では、名情研会員以外の方にも役立つ情報を発信しています。

<http://www.meijoken.com/>

名情研

検索